

我が社に DX は必要なのか：ビジネスモデルの転換と成長への道

専修大学 山内昌斗

概要：

企業の競争力強化の手段として DX（デジタルトランスフォーメーション）が注目されています。沖縄県においても「沖縄 DX 促進支援事業」が開始され、行政による導入支援が行われています。

ただ、多くの企業が DX 化に失敗しています。ある研究者は DX 化の成功率は 5%程度だと言っています。ほとんどの企業で社内の生産性が低下し、業務が混乱し、人間関係が悪化すると言っています。

しかし、それは正しい経営学的な理解なしに DX 化を進めた企業の話です。DX 化に成功した企業は一時的な生産効率の低下を経験するものの、業績が好転し、高い競争力を獲得しています。DX は「攻めの DX」と「守りの DX」の 2 つの次元に分けて考える必要があり、それぞれに合わせた組織能力を構築する必要があります。正しい経営学的理解の下では、DX が企業にとって生産性向上や企業成長に大きな変革をもたらすツールとなります。

そこで、今回は技術的な面ではなく、「経営学」の観点から、DX の意義や導入にあたっての注意点などをお話したいと思います。当日、皆さまと議論できたらと思います。